



2014年8月28日

日立GEニュークリア・エナジー株式会社

## 日立GEの英国向け改良型沸騰水型原子炉が包括的設計審査で大きく前進

日立GEニュークリア・エナジー株式会社(取締役社長:武原 秀俊/以下、日立GE)は本日、英国の原子力規制関連機関より、改良型沸騰水型原子炉(ABWR: Advanced Boiling Water Reactor)の包括的設計審査(GDA: Generic Design Assessment)を第3段階に進める決定を受けました。英国におけるABWRの建設への大きな前進となります。

ホライズン・ニュークリア・パワー社(以下、ホライズン)は、アングルシー島のウィルヴァおよびサウスグロスターシャー州オールドベリー・オン・セヴァーンにある同社施設にABWRを建設する予定です。

### 日立ヨーロッパ社英国原子炉規制許認可担当ジェネラルマネージャ 佐藤憲一氏コメント:

GDAの3段階への進展は、これまで重ねてきた継続的な取り組みの成果です。この重要なマイルストーンを通過し、2017年末までにGDAを完了するというスケジュールが順調に進んでいることを嬉しく思います。GDAは当然のことながら徹底的かつ厳格な審査であり、今後数か月にわたりより詳細な資料を規制関連機関に提出する予定です。

現在、40人以上の専門家で構成される日立GEのチームが英国内の3拠点でGDAへの対応に専念しており、さらに日立グループ全体から集められた大規模なチームがその支援をしています。英国の規制に対する理解を深め、規制関連機関と協同で要件に対処することで、英国における日立GEの足掛かりはGDAの段階を経るごとに強固なものになっています。

ABWRは実証された技術であり、第三世代+(プラス)以降としては世界で唯一稼働実績のある原子炉です。ウィルヴァおよびオールドベリーでは、建設にあたり何千人もの雇用を生み出し、稼働開始後は、英国が必要とする安全で、環境に優しく、安価なエネルギーを供給します。GDAの次の段階に進めることは大変嬉しく、ホライズンにプラントを提供できることを楽しみにしています。

### ホライズン COO アラン・レイマント氏コメント:

ホライズンは安全で、安価な低炭素の電気を英国に供給する計画を進めていますが、日立GEがこの重要な段階を順調に進めていることは歓迎すべきことです。妥当性評価(Regulatory Justification)に関する最近の発表や、9月に1回目のパブリック・コンサルテーション(建設地の住民との協議)が開始されることを考えると、2020年代前半に最初の発電を行う計画は順調に進んでいるといえます。

## ■補足情報

- ・日立GEは本日、UK ABWR の GDA に関連したウェブサイト (<http://www.hitachi-hgne-uk-abwr.com/>) 上で建設前安全報告書(PCSR: Pre-Construction Safety Report)と一般環境許可証(GEP: Generic Environmental Permit)を公開しました。
- ・英国の規制関連機関である原子力規制庁(ONR: Office for Nuclear Regulation)、環境庁(EA: Environment Agency)、ウェールズ自然保護機関(NRW: Natural Resources Wales)は、GDA の第2段階に関する概要報告書と審査報告書を公開しています。各報告書は、共同で開設している GDA のウェブサイト(<http://www.onr.org.uk/new-reactors/index.htm>)に掲載されています。
- ・各規制関連機関コメント:  
この段階で、英国における ABWR の使用を容認できない安全性、セキュリティ、環境に関する根本的な問題はありません。
- ・原子炉供給企業である日立GEは、ホライズンの主要請負業者になっています。日立GEの ABWR は、国内では既に3つのサイトで合計4基の建設実績があり、米国、台湾地域でも認可を受けています。
- ・2013年の4月には、英国原子力規制庁および環境庁と審査に関する契約を締結しました。これにより、GDA が開始されています。第2段階に進展した2014年1月には、一般市民および関係者の参加を求めるという重要な段階に入りました。これに伴い、原子炉の技術を解説し、設計に関するコメントを収集するための専用ウェブサイト(<http://www.hitachi-hgne-uk-abwr.com/>)を新たに開設しています。このウェブサイトでは、原子炉の設計や、日立GEから規制関連機関への提出物に関し、コメントや質問を投稿することができます。ただし、このプロセスでは英国政府の原子力エネルギー政策に関する議論は対象外となっており、ホライズンが提出した開発計画に関する合意と重なるものではありません。

## ■日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社(日立 GE)について

日立 GE は、2007年7月に株式会社日立製作所と GE の合弁会社として設立された、原子炉関連設備の開発、計画、設計、製造、検査、据付、試運転、保全サービス、およびこれを統括するプロジェクトマネジメントを一貫して実施する体制を持つ世界トップクラスの総合プラントメーカーです。これまで建設中も含めて国内で23基の実績があります。この中で、とりわけ、最新の改良型沸騰水型原子炉(Advanced BWR/以下、ABWR)については全ての ABWR プラントに参画(国内運転開始済4基、国内建設中3基)しています。海外では、台湾の龍門原子力発電所向けに、主要な原子炉設備を納入しています。

■ホライズン・ニュークリア・パワー社(ホライズン)について

ホライズンは、英国内における新たな原子力発電所の建設を目的として 2009 年に設立され、2012 年 11 月に日立により買収されました。原子力発電所をアングルシー島のウィルヴァとサウスグロスターシャー州オールドベリー・オン・セヴァーンに建設予定で、その建設段階において各サイト毎に約 6,000 人、また発電所の運転開始以降は、最大 1,000 程度の雇用を創出することが見込まれています。ホライズンの詳細については、ウェブサイト([www.horizonnuclearpower.com](http://www.horizonnuclearpower.com).) をご覧ください。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---